

令和 5 年度事業総括

項 目	事業計画（令和 5 年度総会）	令和 5 年度事業の概要と成果	今後の取組み・検討課題
協議会	①総会 ・ 1 回開催	①総会 【概要】 ・ 1 回開催（令和 5 年 7 月 10 日） 【成果】 ・ 令和 4 年度の事業報告、令和 5 年度事業計画等について協議することができた。	□第 1 期開園（令和 6 年 8 月より） ・ 指定管理者による管理運営状況の報告等 □未開園区域の整備等に関する報告や検討
	②企画運営会議 ・ 2 回開催	②企画運営会議 【概要】 ・ 2 回開催（第 1 回：令和 5 年 11 月 27 日、第 2 回：令和 6 年 3 月 19 日） 【成果】 ・ 各開催日までの活動報告、道路・公園整備状況に関する報告、第 1 期開園以降の公民協働による管理運営内容や協議会体制等について協議することができた。	
環境保全活動	③環境保全活動 【目的】 ・ 主に多様性の高い二次草原の復元を目指した保全 【内容】 ・ 年 22 回を予定（平日活動 11 回、休日活動 11 回） ・ 協議会会員等と利用調整会議（保全活動ミーティング）で事前に活動場所や内容等を検討しながら、植生の目標像をめざした草刈や間伐等の保全作業、草原迷路やツツジ林の手入れなど環境保全に配慮した利用に関する活動を行う。	③環境保全活動 【概要】 ・ 活動回数 22 回 ・ 延参加者数 455 人 ・ 活動範囲面積 約 15,800 m ² 【成果】 ・ 草刈によってネザサの生育が抑制され、背丈が低い草原が維持されている。 ・ 西側草原に 5 号線道路沿いのチガヤの一部を移植することができた。 ・ 生き物横断管の出入口の湿潤化や、H 湿地近辺に防水シートを張り雨水を貯める実験を実施し、H 湿地近辺ではヤゴやオタマジャクシの生息が確認できた。 ・ 令和 5 年 6 月から、定例活動の午後に利用プログラムの練習などを行う「スキルアップ活動」を開催し、草花染などの練習を実施できた。	□環境保全活動の継続 □開園区域内での作業の安全管理
利用調整会議	④-1 保全活動ミーティング ・ 月 1 回、計 11 回開催予定 ・ 公民協働による自然環境保全活動や、保全に配慮した利用等について検討する。	④-1 保全活動ミーティング 【概要】 ・ 月 1 回 12 回実施 ・ 延参加者数 287 人 【成果】 ・ 定例活動の午後に実施していた保全活動ミーティングを、令和 5 年 6 月から定例活動の直後に開催するよう時間を変更したことで、より多くの参加者と情報共有や検討をすることができた。	□環境保全活動に関する情報共有、変更や改善検討等
	④-2 事業計画ミーティング ・ 企画運営会議の事前に年 2 回開催予定 ・ 第 1 期開園時の公園管理運営について検討する。	④-2 事業計画ミーティング 【概要】 ・ 3 回実施 ・ 延参加者数 37 人 【成果】 ・ 植生管理方針、プレイベント等 PR の取組み、第 1 期開園後の協議会体制等について検討することができた。	□第 1 期開園後の管理運営報告等 ・ 指定管理者による管理運営状況の報告等 □未開園区域の整備等に関する進捗確認や検討

項 目	事業計画（令和 5 年度総会）	令和 5 年度事業の概要と成果	今後の取組み・検討課題
普及啓発活動	⑤信太山里山講座 【目的】 ・信太山丘陵里山自然公園に対する知識や保全の技術を有する人材の育成 【内容】 ・必修講座 3 講座、選択講座 3 講座の年間 6 講座を開催予定 ・翌年度にまたがった受講を可能とし、全 4 講座の受講で修了とする。 ・新型コロナウイルス感染症予防の対策として令和 3 年度より実施してたオンライン配信による講座を継続する。（R6 年度で廃止）	⑤信太山里山講座 【概要】 ・全 6 講座を実施（必修 3 講座、選択 3 講座） ・受講生（申込者）26 人、修了生 5 人、協議会会員登録者数 5 人 【成果】 ・目標の受講生（申込者）30 人に近い申込者数となった。修了生及び協議会会員登録者数は、目標の 10 人は達成しなかったが、修了生 5 人全員が会員登録を行った。	☐ 開講時期の変更を検討 ・受講生を増やすため、開講時期を 9 月から 4 月開始にすることを変更
	⑥開園プレイベント 【目的】 ・令和 6 年に開園する第 1 期開園区域の周知、令和 5 年 7 月に完成する管理棟のお披露目、利用プログラムの実践を目的とした、第 1 期開園プレイベントを開催 【内容】 ・令和 5 年 9 月開催予定 ・公民協働による利用プログラム、管理棟内での展示等を実施	⑥開園プレイベント 【概要】 ・1 回開催（令和 5 年 9 月 16 日 10 時～15 時） ・参加人数（延べ）263 人 ・草や木を使ったクラフトやバッタ採り等の利用プログラム、管理棟での展示を実施 【成果】 ・イベント参加者等に第 1 期開園について周知することができた。 ・公民協働による 10 個の利用プログラム（屋外 7、管理棟内 3）、管理棟内での写真やパネルの展示を実施することができた。	☐ オープニングセレモニーの開催（令和 6 年 8 月 4 日（日）） ☐ オープニングイベントの開催（令和 6 年 10 月 19 日（土））
	⑦自然観察会 【目的】 ・信太山丘陵里山自然公園の自然環境の固有性、独自性を多くの人に周知 【内容】 ・2 回実施予定	⑦自然観察会 【概要】 ・第 1 回を開催（令和 5 年 9 月 16 日） ・第 2 回は雨天中止（令和 5 年 2 月 26 日） ・参加者数 第 1 回 47 人 【成果】 ・西側エリアと惣ヶ池湿地にて自然観察を実施することができた。 ・第 1 回観察会では、35 種の生き物を確認することができた。	☐ 指定管理者による自然観察会の実施
調査・実験	⑧湿地調査 【目的】 ・大阪府レッドリスト等に位置づけられている貴重種の保全、モニタリングの継続 【内容】 ・対象湿地（10 箇所）の植物種の確認調査（年 3 回実施予定） ・維持管理手法等を整理した湿地管理台帳の作成 ・公開及び非公開情報等の検討。 ・春の調査で水質調査を実施。	⑧湿地調査 【概要】 ・湿地 10 箇所の植物種の確認調査を 3 回（4 月、8 月、10 月）実施 【成果】 ・『大阪府レッドリスト 2014』に掲載されている 6 種の貴重種（絶滅危惧 I 類）について確認することができた。 ・10 箇所の湿地について、出現種や株数などのデータを蓄積することができた。 ・10 箇所の湿地の現状の水質を把握することができた。	☐ 指定管理者によるモニタリングの実施